

# まちのわだい

Town Topics

## 悠々と泳ぐこいのぼり

鬼怒フラワーラインこいのぼり設置作業 4月15日

鬼怒フラワーライン(大形橋上流左岸河川敷)に悠々と泳ぐこいのぼりが登場しました。同河川敷を管理する花と万人の会が市民などに設置作業の協力を呼び掛け、毎年5月に開催される「花とふれあいまつり」に合わせて平成16年から続けています。

ワイヤーロープで吊り上げられた約80匹のこいのぼりは、鬼怒川に並行して、花畑を縦断するように約200メートルにわたって泳ぎ出しました。

こいのぼりを祖母と持参し、作業に参加した小竹海斗さん(小学4年)は「自分のこいのぼりが泳ぐ姿を見たい。おまつりが楽しみ」と風に泳ぐこいのぼりを見上げていました。

5月20日(日)には同河川敷で、色鮮やかなポピーが咲き誇る中、「花とふれあいまつり」「鬼怒川流域交流Eボート大会」が同日開催されます。



作業に参加した小竹さん(右)と祖母(左)



交通安全の呼びかけをする交通安全協会員

## 安全運転を呼び掛け

春の全国交通安全運動 4月6日

春の全国交通安全運動(4月6日~15日の10日間)の一環として街頭キャンペーンが4月6日、本宿交差点と宗道十字路の2カ所で実施され、下妻警察署や市内交通団体などの関係者約80人が早朝の通勤ドライバーに、「飛び出さない 心のブレーキ 大切に」と書かれた交通安全グッズを配布しながら「安全運転」の大切さを呼び掛けました。



春の山野草を楽しむ来場者

## 春の息吹感じる 山野草ずらり

春の山野草展 4月20日~22日

4月20日から22日までの3日間、小貝川ふれあい公園のネイチャセンター展示室で、下妻市自然愛護協会が主催する「春の山野草展」が開催され、春を感じる色とりどりの草花たちが来場者を魅了していました。

会場には、赤紫色の花を咲かせるサクラソウや白く小さな花が愛らしいニリンソウなど、同会員97人が年間を通じて丹精込めて育てた山野草約300種類481鉢が展示されました。

つくば市から毎年訪れるという70代女性は「一つ一つの鉢に個性があって楽しませてくれる。葉の緑から春の息吹を感じる」と話し、会場にはじっくりと眺めて楽しむ来場者の姿が見られました。

## 希望と夢を胸に新たな一歩

市内小中学校入学式 4月6日

市内各小・中学校で4月6日、入学式が行われ、小学校335人、中学校378人の新一年生がこれから始まる学校生活に希望で胸をふくらませながら参加していました。

宗道小学校では、新一年生49人が歓迎され、担任教諭から名前を呼ばれると一人一人が元気に「はい」と返事をしていました。

東部中学校では、新入生123人を代表した山中優来さんが「家族への感謝を忘れずに新しいスタートを切り、困難を努力で乗り越える立派な中学生になりたい」と力強く誓いのことばを述べました。

新入生はそれぞれの希望と夢を胸に抱き、新たな一歩を踏み出しました。



呼名される新一年生(宗道小学校)



新入生代表による誓いのことば(東部中学校)

## 下妻の歴史に触れる春のイベント

第12回多賀谷時代まつり 4月8日

4月8日、下妻市役所本庁舎西側の多賀谷城跡公園で、今年で12回目を迎える「多賀谷時代まつり」が開催され、暖かな春の風が吹いた会場には県内外から約5,000人が訪れ、下妻の歴史に触れる春のイベントを楽しみました。

会場では、今から約500年前、下妻を拠点に活躍していた戦国武将の多賀谷氏にあやかり、甲冑姿での火縄銃演武から始まり、武者行列や万燈神輿と山車の渡御などが行われ来場者を楽しませていました。

八千代町から夫婦で来場した男性(70代)は火縄銃の演武に「迫力がある。なかなか見られないから来てよかった」と話していました。



川越藩火縄銃鉄砲隊保存会による火縄銃演武



渡御を楽しむ参加者



下妻多賀谷太鼓の演奏



盛り上がる万燈神輿

有料広告欄